

第3次山都町総合計画案に対するパブリックコメント実施結果

1. 案件 第3次山都町総合計画案
2. 意見募集期間 令和7年12月26日（金）から令和8年1月26日（月）まで
3. 意見提出件数 (1) 提出者数 13人、1団体
(2) 提出意見数 28件

4. 提出された意見及び意見に対する町の考え

(趣旨を損なわない範囲で意見を要約させていただきました。)

番号	箇所(項目)	意見の概要	町の考え
1	全体的に	数値目標をもう少し高く設定できないか。 国が推進する事業に取り組み、移住者等の人口増に繋げて欲しい。	数値目標は町の現状と理想の双方を踏まえて設定しました。 国の動向に注視しながら、引き続き人口の減少抑制、増加促進に努めます。
2	(P15) 課題1	「アンコンシャスバイアス」わかりやすい言葉で書いて欲しい。	用語解説に追加いたします。
3	(P21) 基本目標1	少子化に向けての対策が具体的でない。	総合計画については、まちづくりの大きな方向性を示すものとして策定することから、基本目標2-1で子育て環境の整備、充実、発信について記載しているところです。 具体的施策は、各部署における個別計画等により実行していきます。
4	(P21) 基本目標2	支援学級の子もたちが親学級の子も子どもたちと混じり合い、知り合えるようなクラス作りを要望する。 学校に登校できない子どもが増えている。登校できない原因を把握し、学校、教育委員会、町総出で対策をしてほしい。 学校教育の向上のためであれば、義務教育学校設立ではなく、子どもたちが通いやすい地域にある学校存続を要望する。	クラスづくりにつきましては、学校と検討してまいります。 登校できない子どもへの支援については、一人ひとりの状況を慎重に把握し、学校等と連携して適切に対応してまいります。 義務教育学校の具体的な整備・運営にあたりましては、教育環境の充実とあわせて、地域との連携や子どもたちの安全・安心の確保など、より良い教育環境づくりに努めてまいります。

5	(P21) 基本目標 2	人権教育は行政の場に必要である。 職員研修はあるようだが、本当に職場に生かされていないと感じる。	行政に関わらず、町民や関係団体においても、それぞれが人権を自分事として捉える意識作りが重要です。引き続き研修等を通じて、人権意識の高揚に取り組んで参ります。
6	(P22) 基本目標 4	通潤橋の放水は出しすぎではないか。橋が壊れないか、無理していないか心配だ。	放水は土砂吐き(土砂やゴミの排出)のために設けられた機能ですが、引き続き通潤橋や水路の維持管理に努めます。
7	(P21-22) 基本目標	全国一有機農業を推進しているというが、農薬散布の広告看板を見つけがっかりした。化学肥料や農薬を使わないようにしてほしい。 自衛隊演習場があるのは、町の魅力を半減している。騒音や兵器類の持ち込みなど無くして欲しい。 空き家が多く、中には崩壊寸前のものであるので、一刻も早い撤去を望む。	「有機農業全国No.1のまち」として今後も環境に配慮した有機農業を推進していきます。 これまで長年にわたり、演習場(国)と周辺地域のお互いの理解のもと維持が図られてきました。騒音等、周辺地域の障害等の課題は、随時調整して参ります。 空き家に関しましては、総合計画や各種計画に則って適切に対処します。
8	(P65-66) 子育て環境の整備、充実、発信	ホームページだけでなく、LINE やアプリで行って欲しい。	ホームページだけでなく、様々な発信方法を活用していきます。
9	(P67-68) 学校教育環境の向上	義務教育学校設置については、小さな学校を残すことと共に検討してほしい。	義務教育学校の具体的な整備・運営にあたりましては、教育環境の充実とあわせて、地域との連携や子どもたちの安全・安心の確保など、より良い環境づくりに努めてまいります。
10	(P69-70) 矢部高校応援体制の充実	学生寮について、町独自で建設することも視野に入れて欲しい。 多様なニーズの中には、支援学校の分教室を望む声がある。ぜひ実現してほしい。	学生の住まいの支援については、あらゆる選択肢を排除せず検討してまいります。 支援学校の分教室については、学校と連携し検討してまいります。

11	(P73-74) 生涯学習の 機会提供	中央公民館の日曜日開館を要望する。(ほか1件)	担当課等と調整し検討してまいります。
12	(P73-74) 生涯学習の 機会提供	図書館ホールについて言及されていない。ホールの音響・照明設備等の施設整備を望む。	図書館は生涯学習の拠点として有効活用を図り、ホールを含めた施設の適切な管理に努めます。
13	(P115-116) 環境保全と 循環型社会 の形成	ごみ減量のため、過剰なプラ包装やペットボトル使用の削減を呼びかけて欲しい。	適切なりサイクルの推奨等について計画に基づき広く住民に発信していきます。
14	(P99-100) 地域資源の 再認識と活用	浜の館跡から出土した三彩鳥型水注や黄金延べ板などの国指定重要文化財について、実物の保存管理に配慮しつつ、精巧なレプリカを活用した展示の実施を普及啓発・活用施策の一つとして検討いただきたい。	文化財の適切な保存管理とともに、引き続き、様々なツールを活用した普及啓発に努めます。
15	(P99-100) 地域資源の 再認識と活用	阿蘇氏ゆかりの中世山城である岩尾城跡について、竹木の伐採や眺望の確保など、史跡環境の保存・整備の方向性を明確にしていきたい。	重要史跡、名勝等の適切な保存管理・活用と整備に努めます。
16	(P99-100) 地域資源の 再認識と活用	町内に点在する文化財や史跡について、案内板の整備や既存案内の充実を検討していただきたい。	地域資源の発掘と活用に向け、文化財等の情報発信を充実してまいります。
17	(P99-100) 地域資源の 再認識と活用	通潤橋下を流れる轟川について、河川環境への影響に十分配慮したうえで、錦鯉の放流など象徴的な取組の可能性について検討していただきたい。	錦鯉の放流については、生態系への影響も考えられるため、専門家や関係機関等と検討してまいります。
18	(P115-116) 環境保全と 循環型社会 の形成	町をあげてリサイクル率を上げて欲しい。	町のリサイクル率向上はもちろんのこと、住民の皆様と一体となって、環境保全に向けて取り組みを進めます。
19	(P121-122) 住環境の整備・ 定住の促進	全体的に子育て世帯や若者世帯の町外流出を食い止める取り組みを強化し、住宅整備のスピードを上げて欲しい。	総合戦略をもとに、少子高齢化や町外流出抑制に向けた取り組みを推進します。

20	(P129) 移住の促進・関係人口の創出	町職員の多くが町外より通勤しているようだが、少しでも町内に居住することを考え支援策等を提案してもらいたい。それによる人口増を望む。	町職員のみならず、誰もが住みたいと思えるような山都町を目指します。
21	(P134) 適正な行政運営	住民への情報の共有化、住民の絆の強化を目的に「FM やまと」を開局してはどうか。	引き続き様々な情報ツールを活用した情報発信に努め、ご意見として承ります。
22	子育て環境について	保育園の閉園が相次いでいるが、通園バスの手配をし、負担を減らして欲しい。	公立保育園への通園バスの運行はありません。通園支援につきましては、園や関係各課等と協議のうえ検討してまいります。
23	子育て支援について	矢部小学校の空き教室を活用した放課後児童クラブ（学童保育）開設を要望する。（ほか3件）	放課後児童クラブの開設につきましては、関係各課と協議のうえ検討してまいります。
24	その他	企画の提案「バーチャル山都町 観光プロジェクト」	いただきましたご意見は関係部署と共有のうえ、今後の施策検討の参考とさせていただきます。